

AKAPTOT NEWS

Vol.73 ● 2024.12

TOPICS

来年度以降事業に関する『大切なお知らせ』

第 25 回学術集会（東京）開催決定

▶▶▶ **Headline**

▶ 令和 6 年度第 2 回理事会・来年度以降事業報告

▶ 第 25 回学術集会開催のお知らせ

▶ 第 30 回基礎コース（福岡）開催報告

▶ 動画コンテンツのお知らせ

▶ リレーコラム（第 32 回）

akaptot.com



日本関節運動学的アプローチ医学会 理学・作業療法士会
Japanese medical society of Arthrokinematic approach
for Physical・Occupational Therapist



§ 日本AKA医学会理学・作業療法士会 ホームページのお知らせ

<http://akaptot.com/>

会員の方は**新規にログイン**してご利用ください。
各種研修会情報や学術集会申し込み、変更手続きなどが行えます。

§ 今後の事業計画

今後予定されている事業内容です。日時は会場の都合により変更となる場合があります。
各ブロックでの地域技術研修コース等の事業につきましては当会ホームページに随時掲載されますので定期的な閲覧をお願い致します。

内容	日時	担当ブロック
学術集会		
第 25 回学術集会（東京）	2025 年 7 月 6 日	関東・甲信越ブロック
詳細は記事および巻末のご案内をご覧ください		
受験コース		
第 16 回受験コース（東京）	2024 年 12 月 21・22 日	関東・甲信越ブロック
詳細はホームページ「研修コース」→「受験コース」をご覧ください		
資格認定試験		
令和 6 年度認定試験（大阪）	2025 年 3 月 2 日	認定委員会
詳細はホームページ「おしらせ」2024. 8. 31）をご覧ください		
地域技術研修コース		
詳細はホームページ「研修コース」→「地域技術研修コース」をご覧ください		
九州沖縄ブロック第 108 回（福岡）	2025 年 1 月 26 日	九州・沖縄ブロック
関東甲信越ブロック第 178 回（東京）	2025 年 2 月 2 日	関東・甲信越ブロック
近畿ブロック第 93 回（大阪）	2025 年 2 月 2 日	近畿ブロック

§ 令和 6 年度第 2 回理事会報告および来年度以降事業のお知らせ

令和 6 年 11 月今年度第 2 回理事会が開催され、種々の事業につきまして検討されました。

以下、会員の皆様に関わる大切なお知らせが多数ございますのでよくお読み下さい

【事務局より】

＜AKAPTOT 会ゆうちょ銀行口座名義変更のご連絡＞

ゆうちょ銀行からの「預金者情報整備」の要請に伴い、当会のゆうちょ銀行口座名義を以下の通り変更いたしましたのでご報告いたします。

旧名義：AKAPT 会 事務局

新名義：AKAPTOT 会

注) 口座種別や番号につきましては一切変更ございません。

これに伴う会員への影響については以下のとおりです。

・入会や口座振込での更新手続き

⇒スマートフォンや PC からのお手続き、ATM でのお手続きの場合、銀行名、支店名、口座種別、番号等を「以前通り」ご入力されれば、問題なく振込手続き可能ですのでご安心ください。ただし各銀行の窓口より旧名義で振込手続き「振込用紙に手書き」をされた場合には、未完了となる場合がございますのでご注意ください。

・自動払込の更新手続き

⇒ゆうちょ銀行に対し口座名義の読替手続きを完了しておりますので、何らかのご対応頂く必要は特にございません。対象の皆様宛にはゆうちょ銀行より後日読替手続きのお知らせが届く予定です。

※ウェブサイト表記について

一部のページにおいて名義表記修正作業が対応中となっており、旧名義が表記されている部分がございますのでご注意ください。

【会誌編集委員会より】

先日開催された理事会でこれまで会員の皆様に配布していた印刷物の会誌を廃止し、会誌を電子化することになりました。来年度以降、電子化した会誌が当会のホームページにアップロードされます。今後は会員の皆様に当会のホームページからアップロードされた会誌を各自でダウンロードしてもらうことになります。お手数をおかけしますがよろしくお願いいたします。来年度の会誌 VOL17 号は 2025 年の 4 月に当会のホームページにアップロードする予定です。

【広報委員会より】

ニュース 2024 年 5 月発行 Vol. 71（令和 6 年度第 1 回理事会報告）にてご報告しておりました当会情報発信の電子化推進に伴いまして、発足当時より紙媒体で発行・発送されて参りました当会ニュース（各種同封書類・会誌を含む）について、令和 7 年度より当会ウェブサイトへアップロードする形となりましたのでご報告致します。なお、発行時にはメールにてお知らせする予定です。当会におきまして、メールアドレスを未登録の方や現在使用されていないメールアドレスが登録されている場合は、必ず当会ホームページで修正頂きますようお願い致します。

【認定委員会より】

＜次年度からの資格更新再開について＞

11 月に開催された理事会での検討を経て、令和 7 年度より資格更新手続きを再開することが決まりましたのでお知らせいたします。

当会では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受け、令和 2 年度（2020 年度）から各種事業を休止しておりました。それに伴い、資格認定期間を自動延長とし、更新手続きは不要としておりました。

その後、令和 4 年の福岡学術集会を皮切りに各種研修会を再開し、本年度は学術集会をはじめ、基礎・応用・受験・地域などほぼすべてのコースが開催される状況となっております。このような状況を踏まえ、次年度より資格更新手続きを再開する運びとなりました。

また、来年度からは各種案内のペーパーレス化に伴い、更新に関するご案内は登録済みのメールアドレス宛にお送りいたします。未登録の方や現在使用されていないメールアドレスが登録されている場合は、必ず当会ホームページで修正いただきますようお願い申し上げます。

以下に次年度からの更新についての何点か記載いたします。

① 令和 6 年度の更新について

令和 6 年度は更新の必要はありません。更新手続きは令和 7 年度から開始となり、申込手続きは令和 7 年 12 月より行います。

② 次年度の更新対象者について

次年度の更新対象者は、有効期限が令和 3 年 3 月 31 日の方となります。

③ 自動延長期間中の単位について

令和 2 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの自動延長期間中に受講した単位も、特例措置として今回の更新に使用可能です。

④ 指導者助手の指導単位について

指導者助手の更新に必要な指導単位については、研修会の回数や参加者の減少を考慮し、何らかの緩和措置を講じる予定です。詳細は決まり次第お知らせいたします。

⑤ 延長申請のリセットについて

自動延長以外で特例措置により延長されていた方も、今回の自動延長が 5 年間と長期間であるため、次年度から更新期間がリセットされ、改めてカウントが始まります。今後も延長が必要な場合は、新たに延長申請を提出していただく必要があります。

⑥ 最新情報のお知らせについて

随時、新しい情報がありましたら、公式メールにてお知らせいたします。

§ 第 25 回学術集会（東京）開催のお知らせ

●学術集会 開催概要

【テーマ】：治療できるセラピストを目指して

【学会長】：池谷 和弘

【開催日時】：令和 7 年 7 月 6 日（日）

【会場】：KABUTO ONE [カブトワン]

＜所在地＞東京都中央区日本橋兜町 7 番 1 号

【学術集会ホームページ】：作成中

【プログラム（予定）】

招待講演：山梨大学医学部整形外科学 波呂浩孝教授

教育講演：竹本民樹先生

スキルアップセミナー：

基礎技術編（仙腸関節）：赤木智先生

基礎技術編（四肢副運動）：前田智秀先生

臨床編（痛み）：梶原隆男先生

臨床編（拘縮）：小松勝幸先生

臨床編（脳卒中）：永堀造男先生

一般演題

●参加申し込み

参加形態：現地参加、ライブ配信、オンデマンド配信

申し込みは AKAPTOT 会ホームページ「学術集会のご案内」で順次お知らせ致します。

●演題募集

1. 応募資格

演題発表の筆頭演者が日本 AKA 医学会理学・作業療法士会の会員資格を有すること

2. 応募方法

メールにて、以下を記載し令和 7 年 1 月 6 日（月）までに送信してください。

件名：「2025 東京学術演題申込」

本文：①氏名、②所属・職種、③連絡先メールアドレス

送信先メールアドレス：k-kagami@keishin-g.or.jp

第 25 回学術集会 学術局 加賀美 研

*応募の確認が出来次第、連絡先メールアドレスへ原稿の作成や送付等に関する詳細についての連絡をさせていただきます。

なお、抄録提出期限は令和 7 年 3 月末の予定です。まずは、演題ご応募お待ちしております。

§ 第 30 回基礎コース開催報告

2024 年 9 月～11 月にかけて、2019 年の東京開催が最後となっておりました基礎コースが福岡市で開催されました。

基礎コースは 10 日間にわたり、AKA-博田法および関節神経学的治療法（ANT）の知識・技術をほぼ網羅するコースです。コース終盤には筆記・実技確認テストも盛り込まれ、習熟度の個別確認、その

フィードバックも行われ、手厚いプログラムとなっています。なお、この筆記試験で一定点数を取得された場合、当会認定療法士の認定試験に関して免除制度を利用でき、また認定試験と同様の実技試験を体験できるなどの大きなメリットもあります。過去の参加者からは「あの時の 3 か月はなかなか経験できない、本当に充実したしていた期間でとても楽しかった」「同じコースで知

り合えた全国の仲間と長年励まし合って続けられています」など他のコースではなかなか得られないものがあるようです。

今回南は奄美群島、北は北海道にわたる国内全域の地域から 16 名の方々がご参加下さいました。筆者自身これまで何度も基礎コースに運営・指導に関わって参りましたが、今回ほど驚いたことはありませんでした。それは過去と比較して日を迫う毎、受講された方々の上達度が異常に早いことでした。この理由としてはまず受講者の方々の取り組む姿勢・気持ち・頑張り・素直さが根底にあり、それは過去においてもそうであったと思われます。他にも優れた講義・デモンストレーションや指導者のみの指導であったことなど様々な要因があるかと思いますが、一番は論文『AKA-博田法における密着』（当会会誌 Vol. 15 巻頭）などこの未開催 5 年間の（博田先生ご自身による）博田法技術の分析とその指導法の解明がかなり進んだことによるものと痛感致しました。この報告をご拝読下さった皆様も是非今後地域技術研修コースなどご参加下さり、それを実際に体感してもらえたらうれしく思います。

とにかく、ご参加の皆様本当にご苦労様でした。また、学術集会などどこかで再会できますことを楽しみにしています。

九州・沖縄ブロック
第 30 回基礎コース開催責任者
杉尾 秀一



§ AKA 動画コンテンツのお知らせ

現在、会員の皆様の学びの機会をご提供できるよう学術集会や技術のデモ動画を YouTube で限定配信しております。動画では伝わりにくい部分もありますが新入会員の皆様の AKA-博田法に関しての新たな学習としては勿論、ある程度 AKA-博田法を学んできた会員の皆様にも復習の場として学習できる内容となっておりますので是非ご利用下さい。

以下視聴方法を案内します。

1. 日本 AKA 医学会理学・作業療法士会ホームページにアクセス (<http://akaptot.com/>)
2. 会員専用ページにログイン
3. その他の項目の「学術集会動画配信」「技術デモ動画配信」をクリック
4. 「演題名」「技術名」をクリックすると動画が視聴できます。

＊現在、動画作成担当者にて教育動画を作成中です。今後、当会ウェブサイトにはアップロード予定です。アップロードされた際にはメールにてお知らせ致します。

§ リレーコラム（第 32 回）

『初心』

関東甲信越ブロック 小野整形外科
指導者助手 丸尾啓介

はじめまして。栃木県宇都宮市の小野整形外科で勤務しております理学療法士の丸尾啓介です。この度は僭越ながらリレーコラムのご指名を頂きましたので書かせて頂きます。コラムなんてもの初めて書きますし、AKAもまだまだ下手くそですし、もちろん文才なんて無いですし、まずお前誰？な存在ですので、あまり気負わずに書いていこうと思います。AKAに関することというテーマで頂きましたが、AKAを語る身分でも無いので、AKAに関する話 1 割くらいな気分で進めていきたいと思います。

AKAを始めてから気づけばもう16年目になりました。博田先生の技術レベルを山頂と例えると自分が現在何合目に立っているかは分かりません。ただ果てしなく遠いところに山頂がある様に思えます。しかし思い返せば山麓も遠くに見えるような位置にも立っているなとも思います。初めて仙腸関節技術のレクチャーを受けた時、「どう？動いているのわかるでしょ？」「摘まむと動き硬くなって、手の力抜くとより動くでしょ？」とか言われて「あー、何か動いているのを感じますねー」とか「うおお！まじか、全然違います！」なんて答えていましたが、全然全くもって分かっていませんでした。その時指導して頂いた先生すみませんでした。でもそんな経験みんなしますよね？私は最初ホント全然分からなくて何をどこから練習していいのか、というかこの技術をやって行けるのかとても不安でした。

それどころか忘れもしないのが、AKAを練習し始めて何ヶ月か経った頃、いよいよ初めて患者に対してAKAを行うとなった時のことです。新患で来た患者の名前を呼び、立ち上がったのはとても怜愍の良い女性。PSISを探すもまだ未熟な私はよく分からず。上司に目配せし、俺がやるからと言

ってくれた時の安心感と情けなさは一生忘れません。記念すべき1例目は見るだけで終わりました。診るのでは無く、文字通り見るだけで。こんな情けないスタートでした。ただ、幸いなことに院長含め全員がAKAに取り組むこの環境があったからこそ現在にまで成長できたと思っています。

しかし16年目となれど、治せていない患者もまだまだたくさんいるのも事実。今日は全然ダメだったなとテンション落ち込んで帰宅することも珍しくありません。そんな時は夕飯と野球を見るくらいしか楽しみが無いのですが、いかんせん今シーズンは応援している西武ライオンズがクソほど弱く、ストレス解消の為に観ているのかストレス溜めるために観ているのか分からなくなりました。ご飯と野球を楽しみにしているのに野球が楽しみでは無くなったらそりゃ太りますよね。半年で3kg太りました。来年はご飯の楽しみがいらなくらい西武ライオンズには頑張ってもらいたいと思います。

話はなぜか西武ライオンズへの文句に外れてしまいましたが、16年目となった今でも治せていない患者に関しては院長にダメ出しを食らうことが多々あります。悔しい気持ちももちろんあります。ですがこれは院長のダメ出しでありながらも患者の言葉として受け取るようにしています。1年目の時はこんなんでも給料貰っていいのかと、患者にお金払わせていいのかと悩みながら過ごしていました。そういった初めの頃の気持ちと毛髪というのはだんだん薄れてきてしまうものですが、初心忘るべからずというのでしょうか、そういった気持ちはこれからも持ち続けていきたいと思っています。きっとAKAを行っていく中で終着点は無いです。これはきっと博田先生もそうお思いのはず。技術の研鑽を常に怠らず、1人でも多くの患者を治せるようになる為に日々精進していきたい。というかしていきましょう。皆さんと一緒に成長出来、AKAがもっと世間に認知してもらえれば良いなと思っています。

AKAの研修会もぼちぼち行われるようになってきましたが、コロナ禍以降飲み会というものがなかなか難しくなっていましたね。AKAの研修後の懇親会も最後に参加したのはいつになるだろうか。山梨での2次会のモグラも最高だったし、博多の八ちゃんラーメンも最高だったし。世間を気にせず懇親会が開けるようなそんな世の中に早くなってもらいたいと願っています。

結局何が言いたいのかよく分からないコラムとなってしまいました。タイトルを決めずにとりあえず書いてみるスタイルで書いた弊害でしょうか。いまだに何てタイトルにしようか思いつきませんが、最後まで読んでくれた方、ありがとうございます。拙い文章ですみませんでした。

§ 都道府県別会員数 841名 (令和6年12月10日現在)

北海道	6	青森	1	秋田	4	岩手	4	宮城	4	山形	15
福島	1	茨城	1	栃木	25	群馬	12	埼玉	21	千葉	40
東京	39	神奈川	87	新潟	1	富山	1	石川	1	福井	3
山梨	149	長野	4	静岡	14	岐阜	3	愛知	18	三重	2
京都	18	滋賀	7	奈良	12	和歌山	9	大阪	94	兵庫	25
岡山	6	広島	10	島根	5	鳥取	9	山口	35	徳島	13
高知	10	香川	12	愛媛	7	福岡	50	長崎	25	熊本	12
大分	8	佐賀	1	宮崎	2	鹿児島	5	沖縄	10		

§ 日本 AKA 医学会理学・作業療法士会

事務局 E-mail : aka-pt@dream.ocn.ne.jp (お問合せは E-Mail でお願い致します)

(編集後記)

毎年同じことを述べている気がします…今年も早くも年の瀬を迎えます。歳を重ねる毎に時間の経過が早まっているように感じるのは皆さんも同じではないでしょうか。地球上に存在するものに全て平等に時間が流れているはずなのに…10代の頃はあんなに時間が長かったのに…。以下少し長い雑学となりますが、これには主観的な体感時間・時間の相対性が関係しているそうで、それはジャンネの法則(Janet's law; フランス哲学者 Paul Alexandre René Janet 1823~1899 が提唱した理論)で説明されていて、『人が感じる時間の長さはその人の年齢に反比例する』そうで、なんと「50歳の人の10日間は5歳の人の1日!」「物心のつく3歳をスタートとすると90歳まで生きると仮定した場合、20歳前後で人生の半分を終えていることになる!!」「0歳をスタートとすると10歳前後で人生の半分を終えていることになる!!!」。そりゃ〜、早く感じる訳ですよ。それに抗って意図的に体感時間を長くするには「少しストレスを感じるような新しいチャレンジに取り組むこと」「好奇心を忘れずに常に成長する意識を持つこと」らしいです。一方で「多忙な日々を送っていると、時間に追われる感覚が強くなり、時間が早く感じられることがある」、「重要な期限やイベントが近づくと、時間が急速に過ぎ去るように感じることもある」そうで、新たなことを始めるにしてもかえって忙しくなるのも如何ともしがたいですね。と言っても、時間は自分で作るもの。年が明けて、コロナ禍の空白の時間を経てAKA-博田法に関わる基礎知識や技術の習得を再開してみる、あるいは全く新たなことを始めてみるというのもいいのかもしれませんね。ニュース本文の基礎コース報告にも述べさせて頂きましたが、どうも結果から客観的にみてもこのところの技術研修コースの指導はコロナ前のものよりもブラッシュアップされている模様です。是非、研修コースにご参加して体感してみてほしいと思います。

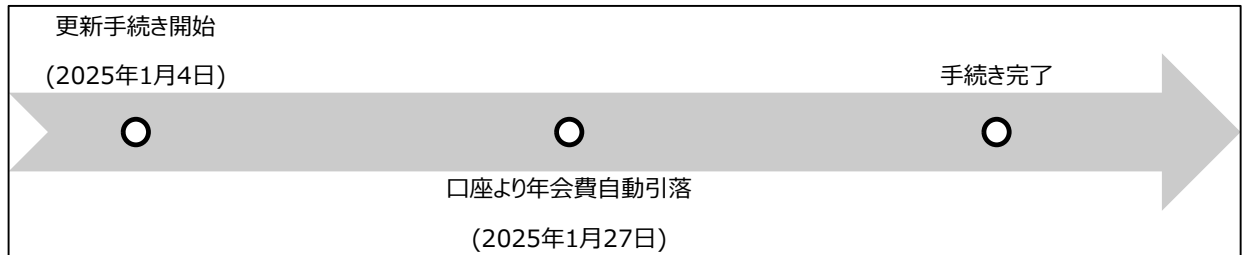
来年度から当会の事業が世上に合わせ、大きく動きます。第一に情報発信の電子化の推進、第二に資格更新制度の再開です。前者については最新情報のメール配信を行いつつ、皆様が能動的に情報をウェブサイト上で取得して頂く形となります。このニュースも今号をもって紙面での発行は最後となり、次号からはウェブサイト上で閲覧もしくはダウンロードして頂く形となります。何卒ご了承の程、宜しくお願い申し上げます。**当会におきましてメールアドレスを未登録、または未使用のアドレスを登録、あるいは今年度当会からのメールを受信できていない場合は必ず当会ウェブサイト上で再度メールアドレスの修正とメール受信設定の確認をお願いします。**後者については資格取得済の皆様はコロナ禍期間で更新期間の延長がなされておりましたが、会事業の本格的な再開に伴うものですので該当される有資格者の方々におかれましてはくれぐれもお気を付け下さい。詳細は当会の会誌巻末もしくはウェブサイトの「資格更新実施要領」を今一度ご確認ください。

今回のリレーコラムは栃木県の指導者助手・丸尾先生が執筆下さいました。皆さんのお気持ちを代表してお話し下さった内容ではないでしょうか。感覚はその時によって変わってくるものです。段々と研ぎ澄まされていく場合もあれば、時として劣化する場合もあります。大抵の方はくるってしまい、我流になる場合が多々あります。しかし、上達の過程においてもそれは起こりうることです。初心を忘れるべからず、技術研修会を通じてなど経験の大小や立場・資格に関係なく、謙虚に、地道に、取り組まねばですね。

では、離れてはいても大切な仲間の会員の皆様、良いお年をお迎え下さい。また来年直接お会いできるのを楽しみにしています!

会員登録更新の手順(1)

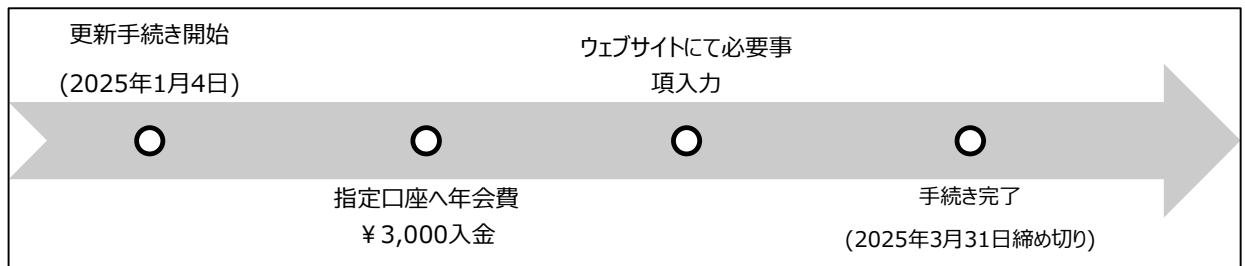
1.自動更新手続き済みの方



・2024年1月25日に年会費¥3,000(+手数料¥55=¥3,055)が引き落とされ、自動的に更新手続き完了となります。ウェブサイトからの手続きは必要ありませんが、登録情報の「変更」については手順(2)最下部「各種変更手続き」をご参照下さい。

注意！ 引き落とし日までに口座残高をご確認ください！口座残高不足にはくれぐれもご注意願います！
当会口座名義が「AKAPTOT会」に変更されましたが、特にご対応頂く必要はなくご安心ください。

2.通常手続きの方



・更新にはウェブサイト(URL : <http://akaptot.com>)上での入力が必要となります。

1)下記の口座へ年会費¥3,000をご入金願います。

入金先：ゆうちょ銀行 普通 五五八店 394180

(記号番号：15510-3941801)

口座名：AKAPTOT会 (エーケーエーピーティーオーティーカイ)

※口座名義のみ変更になりました！

2)当会ウェブサイトにてログイン後、「各種手続き」の「更新手続き」ページより必要事項をご記入の上、手続き願います。(ユーザ名：akaptot、パスワード：hakata、どちらも半角小文字)

ご不明な点はウェブサイト右上の「お問い合わせ」よりご連絡下さい。

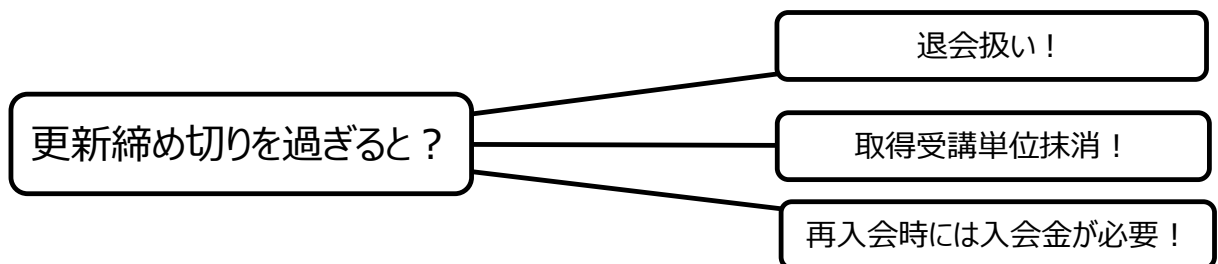
会員登録更新の手順(2)

3.手続き完了のお知らせ

・更新手続きの完了はウェブサイトの「更新者リスト」にてご確認ください。なお、反映されるまでには数日程度かかる場合がございますのであらかじめご了承ください(自動更新完了のページ反映は引き落とし日以降となります)。

・更新手続きを全て完了されたにも関わらずリストに反映されていない場合、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

4.注意事項(通常手続きの方)



- ・更新の締め切り：3月末日
- ・締め切りを過ぎた場合、会員登録情報は抹消され、退会扱いとなります。
- ・再入会をご希望の場合新規入会扱いとなり、取得済みの受講単位も抹消されます。
- ・口座への入金だけで、ウェブサイト上での入力をお忘れの方が毎年一定数おられますのでご注意ください。
- ・年会費入金の際は、確認の都合上ご自身の名義にてご入金下さい。

各種変更手続き

勤務先の変更や自宅住所の変更、結婚に伴う姓の変更など、会員登録情報に変更があった場合ウェブサイトの「各種手続き」より手続き願います。退会についても同様です。

U R L : <http://akaptot.com>

ログインユーザ名 : akaptot

パスワード : hakata

令和 6 年 12 月吉日

日本関節運動学的アプローチ医学会 理学・作業療法士会
第 25 回学術集会（東京）のご案内

第 25 回学術集会 学 会 長 池谷 和弘
準備委員長 加藤 潤

この度日本関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会第 25 回学術集会を 2025 年 7 月 6 日（日）に東京日本橋の KABUTO ONE ホールにて開催する運びとなりました。

関東では 2020 年に川野正巳第 21 回学会長の下、山梨で開催予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大の影響で 1 年の延期その後中止となった経緯があり、実に 10 年ぶりの開催となります。

今回のテーマは「治療できるセラピストを目指して」とし、教育講演では「AKA-博田法の基礎」を講義いただきます。招待講演では「脊椎整形外科の現状とセラピストが押さえておきたい評価のポイント（仮）」とし山梨大学医学部整形外科学の波呂浩孝教授による講演を予定しています。そのほかにスキルアップセミナーとして当会の指導者の先生方に「基本技術編」として技術の基本と治療ポイントを、「臨床編」として痛み、拘縮、脳卒中の治療に AKA-博田法を用いた運動療法についての講演していただく予定です。また一般演題についても募集しており、会員の皆様の日頃の臨床研究等の発表の場をご用意しております。

前回同様にオンライン配信とのハイブリットで開催を予定しておりますが、多くの方が会場にお越しいただいても十分に余裕のある会場を用意しております。せっかくの学会ですから講演を聞くだけでなく、全国の会員の皆様と AKA-博田法や臨床のことについて大いに語り合うことができるようにと考えておりますので、ぜひ会場に足を運んでいただければ幸いです。職場の同僚や友人などをお誘いの上、ご参加をお願い申し上げます。準備委員一同心よりお待ちしております。

